



食は安全安心が命 美味しい豚肉を食卓へ届けます

(有) 浅野農場

浅野 政輝さん (上当別)

ホームページ <http://www13.ocn.ne.jp/~asano/index.htm>

ネットショップ <http://www.kitanokaze.com/>

酪農学園大学を卒業し、その後、父の政一さんから代を受け継ぎ、現在は(有)浅野農場の代表を務める浅野さん。美味しい肉の生産には、独自のこだわりを見せます。

北海道養豚生産者協会の 青年部長に就任したのですね

若い農業者が集まって横の連携を作り、養豚業をPRしていこうと、去年10月に北海道養豚生産者協会青年部を設立しました。

全道の若手や後継者が交流し、豚の病気予防など、飼育に対する情報交換をすることで、若手の中から生産への意識を高めることができると考えています。

浅野農場といえば SPF豚ですよ

私は、安全安心な豚をお客さんに届けたいと考えています。

SPFとは、特定の病原菌を持たな

いという意味で、清潔な豚舎で飼育し、抗生物質などを極力投与しません。このため、食の安全安心を確保でき、肉質が柔らかいのが特徴です。

SPF豚の飼育を始めたきっかけは、雪害で豚舎を壊してしまったことです。

新しく生産計画を立てなければならなくなったのですが、どうせやるならお客さんに安心して食べてもらえる豚を育てようと思い、平成12年から挑戦を始めました。

それまでは、農場に訪問して来た人とは、豚舎の中でも話していましたが、衛生状態を保つため、部外者を入れなくするなど、新しいルール、環境を作ることで、苦労もありました。

消費者のみなさんには、SPF

ポークを食べて、是非、豚肉本来の美味しさを味わってほしいです。

これからはどのような 農業を進めていきますか

町内で畑作と畜産が循環する農業を進めていきたいと考えています。

豚肉の学校給食への提供のほか、堆肥を町内の農家へ卸したり、飼料に当別産小麦の使用をしています。

畑作と畜産がお互いに協力し合い、当別のブランドとして売り出すことが出来れば、もっと当別産の知名度が上がると思います。

農業によって当別が有名になり「当別には浅野農場があるよね」と言われるような美味しい豚を育てて行こうと思います。

人の動き 1月1日現在 ()は前月との比較

人口	19,677 人	(9人減)
世帯	7,819 世帯	(4世帯増)
男	9,624 人	(11人減)
女	10,053 人	(2人増)



今月の表紙

気を込め刀を振り入れる真剣な表情。よろいに供えた鏡餅を食べ、その年の円満を祈った武士の慣習にあやかって、一年元気に稽古ができるように願いを込め、切った餅をお雑煮にして食べました。(1/22 当別剣道連盟鏡開き)